

課題1 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

- 1-1 十代の自殺率
- 1-2 十代の人工妊娠中絶実施率
- 1-3 十代の性感染症罹患率
- 1-4 15歳の女性の思春期やせ症（神経性食欲不振症）の発生頻度
- 1-5 児童・生徒における肥満児の割合
- 1-6 薬物乱用の有害性について正確に知っている小・中・高校生の割合
- 1-7 十代の喫煙率（※「健康日本21」4. 2未成年者の喫煙をなくす）
- 1-8 十代の飲酒率（※「健康日本21」5. 2未成年者の飲酒をなくす）
- 1-9 性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合
- 1-10 学校保健委員会を開催している学校の割合
- 1-11 外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校、高校の割合
- 1-12 スクール・カウンセラーを配置している中学校（一定の規模以上）の割合
- 1-13 思春期外来（精神保健福祉センターの窓口を含む）の数
- 1-14 思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合
- 1-15 食育の取組を推進している地方公共団体の割合（4-14再掲）

課題2 妊娠出産に関する安全性と快適性の確保と不妊への支援

- 2-1 妊産婦死亡率
- 2-2 妊娠・出産について満足している者の割合
- 2-3 産後うつ病の発生率
- 2-4 妊娠11週以下での妊娠の届け出率
- 2-5 母性健康管理指導事項連絡カードを知っている就労している妊婦の割合
- 2-6 周産期医療ネットワークの整備
- 2-7 正常分娩緊急時対応のためのガイドラインの作成
- 2-8 産婦人科医・助産師数①
- 2-9 不妊専門相談センターの整備
- 2-10 不妊治療を受ける際に、患者が専門家によるカウンセリングが受けられる割合
- 2-11 不妊治療における生殖補助医療技術の適応に関するガイドラインの作成
- 2-12 出産後1か月時の母乳育児の割合（4-9再掲）

課題3 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

- 3-1 周産期死亡率
- 3-2 全出生数中の極低出生体重児の割合・全出生数中の低出生体重児の割合
- 3-3 新生児死亡率・乳児（1歳未満）死亡率
- 3-4 乳児のSIDS死亡率
- 3-5 幼児（1～4歳）死亡率
- 3-6 不慮の事故死亡率
- 3-7 う歯のない3歳児の割合
- 3-8 妊娠中の喫煙率、育児期間中の両親の自宅での喫煙率
- 3-9 妊娠中の飲酒率
- 3-10 かかりつけの小児科医を持つ親の割合
- 3-11 休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合
- 3-12 事故防止対策を実施している家庭の割合
- 3-13 乳幼児のいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合
- 3-14 心肺蘇生法を知っている親の割合
- 3-15 乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合
- 3-16 6か月までにBCG接種を終了している者の割合
- 3-17 1歳6か月までに三種混合・麻しんの予防接種を終了している者の割合
- 3-18 初期、二次、三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合
- 3-19 事故防止対策を実施している市町村の割合
- 3-20 小児人口に対する小児科医・新生児科医・児童精神科医師の割合
- 3-21 院内学級・遊戯室を持つ小児病棟の割合
- 3-22 慢性疾患児等の在宅医療の支援体制が整備されている市町村の割合

課題4 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

- 4-1 虐待による死亡数
- 4-2 法に基づき児童相談所等に報告があった被虐待児数
- 4-3 子育てに自信が持てない母親の割合
- 4-4 子どもを虐待していると思う親の割合
- 4-5 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
- 4-6 育児について相談相手のいる母親の割合
- 4-7 育児に参加する父親の割合
- 4-8 子どもと一緒に遊ぶ父親の割合
- 4-9 出産後1か月時の母乳育児の割合（2-12再掲）
- 4-10 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制が確立している保健所の割合
- 4-11 乳幼児の健康診査に満足している者の割合
- 4-12 育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査を行っている自治体の割合
- 4-13 乳児健診未受診児など生後4か月までに全乳児の状況把握に取り組んでいる市町村の割合
- 4-14 食育の取組を推進している地方公共団体の割合（1-15再掲）
- 4-15 子ども心の専門的な診療ができる医師がいる児童相談所の割合
- 4-16 情緒障害児短期治療施設数
- 4-17 育児不安・虐待親のグループの活動の支援を実施している保健所の割合
- 4-18 親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の数